

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.998 (35-19) 2020年12月29日

赤坂社長！ 12・21本社前アピール行動

原告たちの思いは届きましたか？

2019年9月より連日（平日のみ、コロナ禍で4月から6月まで中断）、本社前では原告中心にアピール行動が行なわれています。不当解雇から丸10年を目前にした12月21日には、沢山の原告で赤坂社長に思いを訴えようと、本社前に29名が集まりそれぞれの思いを伝えました。

また、アピール後、内田客乗団長と山口乗員団長はじめ原告団は、本社に要請を行いました。総務の石田氏が対応し、両団長からは「今日は原告が外で社長に訴えたが、年内解決を求めて社長との話合いの場を求めている。社長に今日のことを必ず伝えてほしい」と要請し、社長宛ての「一言メッセージ」を手渡しました。以下は本社前で原告一人一人が訴えた内容です。



赤坂社長は有言実行を！

客室乗務員84名を解雇して6205名も新規に採用している。JALの対応は企業として社会的にも許されない。争議を解決して真面目な企業経営をすべきだ。

当時の稲盛会長が「解雇の必要はなかった」と発言したのだから、解決するしかない。

嘘とごまかしと憲法違反の不当労働行為で解雇を強行されて10年。経営が解決すると約束してから2年7ヶ月、その後の交渉もノラリクラリで解決していない。職場復帰できる人を戻すことと、何らかの形で会社が責任を取らない限り、争議解決はない。

不当な解雇だから納得できない。赤坂社長は有言実行してほしい。

38年間、客室乗務員の仕事に誇りを持って働いてきたが、年齢だけを理由に解雇された。大晦日に首を切られ、家族にも淋しいお正月を迎えさせたことは忘れられない嫌な思い出になった。納得できず中途半端なまま人生を過ごしている。人生を返して欲しい。謝罪の一言が聞きたい。

解決の約束を実現してほしい。これからの人生がある。病欠欠勤で解雇された人はまだ職場に戻れる。多くの人を戻してほしい。

解雇予告通知を受け取った時の思いは忘れられない。母もショックを受け「マンションを出て行かなければならないの」と聞いてきた。理不尽な解雇である事を伝えたら、「最後まで頑張りなさい」と言ってくれた。今施設にいる母に早く良い結果を知らせたい。



昨年経験者採用にのべ21名が応募したが、全員採用が叶わなかった。社長は雇用で解決したいと言っている。それなら客室乗務員の地上職採用も早く結果を出してほしい。

社長の発言「解決したい」は本心だと信じる。誰が邪魔をしているのか。経営トップの発言は実行すべき。それでこそ健全な会社だ。

解雇しないと行って解雇した。社長が解決すると言ってから2年7ヶ月過ぎた。今雇用で解決と言われても、会社を信用できない。

JALで働くことを誇らしく思い、経験を積むほどにやりがいを感じた。日を増すごとにあの解雇が何だったのかと思う。大切な仕事と家族を奪った解雇。傷を修復してほしい。



会社に私たちの10年間の思いは届いているのか。解決すると何度同じ発言をしたのだろう。社長の発言は責任ある重いものだ。

経営協議会で社長が残念な10年と発言したが、人ごとのようなことを言わないでほしい。10年争議を解決できない会社はおかしいと思われると思う。

6200名採用してもILOから4度も勧告が出されても、社長が解決すると発言しても解決しないのはなぜか、疑問だけが積み重なる。10年は戻ってこない。新たな一步を踏み出したい。コロナ後を考えても解決は得策だ。

解雇を強行された仲間が社長に思いを伝えようとこれだけ集まっている。歴代社長が解決を口にして以上、解決を決断してほしい。

2年7ヶ月前には光が見えた。未来のJALのためにも、争議を一日も早く解決してほしい。

希望退職応募年齢を45才以上としたことから組合潰しを直感した。2010年11月時点で社内ではすでに上場準備室が立ち上がり、12月段階で債務超過は解消されていた。不当な解雇であったことは明らか。早く解決して新たな気持ちで新年を迎えたい。



心の晴れない日はなかった。責任のある菊山氏は役員のみで、責任のない私たちが寒空で訴えをしているのは納得できない。

仕事が好きで定年まで働きたかったのに悔しい。履歴書は整理解雇と書かれている。これをなくしたいと10年闘っている。年内はまだ10日もある。解決の決断をしてほしい。

11月10日の経営協議会で赤坂社長は、「解決できるように、これからも一緒にやっていきたいと思う」と発言した。私たちは年内解決を求めて来た。大晦日まで10日しかないが、まだ話し合いはできる。是非その場を作って頂き、社長ご自身で訴えを聞いてほしい。

(この後、欠席者の思いが代弁されました)